

「小田南公園再整備事業に係る説明会」でのご意見等

分類	ご質問・ご意見等	市の考え方
整備内容に関する事	① (仮称)小田南公園野球場も阪神グループが整備するのか。	阪神グループが整備する。
	② 多くの樹木は移設するのか。	可能な限り、園内に移植できるよう検討する。
	③ 小田南公園北側歩道の拡幅について、街路樹はどうなるのか。	拡幅工事を行うにあたり、街路樹は一定撤去する必要がある。その後、街路樹を再配置する中で、現在公園内にあるイチヨウも含め、可能な範囲で残したいと考えている。
	④ 車での来場が増えるのではないかと感じる。迷惑駐車は増えないか。	(仮称)阪神タイガース野球場での興行時には小田南公園の駐車場を一部閉鎖するとともに、公共交通機関等の利用を周知徹底するなど、観客が車で来場しないようにすることで、車の量が増えないようにする。また、迷惑駐車についても、行われぬよう指導や啓発を徹底するとともに規制の強化も含め、引き続き警察等と対応を検討していく。
	⑤ 大物駅から大物川緑地へ向かう動線の整備はしっかり行ってほしい。	現在の歩道橋について、東側の大物川緑地へ抜けることができるように改良することを予定している。また、小田南公園の北西部の交差点の改良や周辺道路の整備も検討を進めている。
	⑥ タイガースの選手がなんば線の下を行き来することとなることだが、一般の公園利用者も通れるようにしていただきたい。	公園利用者の皆様も、阪神なんば線の下を通れるような園路を整備する予定である。ただし、公園利用者の皆様への影響も踏まえ、選手の動線とは分離することを検討している。
	⑦ 小田南公園や大物公園の自然が少なくなってしまうことが悲しい。大物公園はどのような整備内容を考えているのか。大物公園の周囲は、フェンスになるのか、垣根のようにするのか。	地域住民や公園利用者から「子どもの遊び場を残してほしい」という意見が多く、大物公園には遊具広場と芝生広場の整備を行う予定である。その際、フェンスや垣根で囲うのではなく、見通しが良く、明るくなるようにしていく予定である。また、自然については、大物公園など周辺公園の整備と併せ、できるだけ樹木を残していけるよう検討を進める。
	⑧ 大物公園の日本列島を模した石はなくなるのか。	再整備に伴い、この場所からは撤去する予定だが、小田南公園や大物公園の整備に再利用できないか検討する。
	⑨ 大物公園の樹木については、当時の県人会の想いを受け継ぐようなことも考えてほしい。	
	⑩ 大物公園や大物川緑地は樹木が多い。間引くことや樹木の高さを制限することを検討して欲しい。	今後の再整備の中で、いただいた意見のバランスもとりながら、適切な樹木管理ができるよう植栽計画を検討する。
	⑪ 大物公園西側の県道歩道で点字ブロックを歩く際、植栽帯にぶつかることがある。	
	⑫ 子どもの遊び場を減らして、大人の施設を作るのはいかがなものかと思う。	小田南公園の広場は小さくなるが、規模によってはイベント等でご利用いただける。利用に関しては、様々な年代の方々に使っていただきたいと考えている。
	⑬ 小田南公園の西側の広場は今と変わらないのか。少年野球や運動会をする場所はなくなるのか。琴ノ浦高校まで行くのは子供にとって難しい。	また、大物公園にも芝生広場を整備するため、ここでの広場機能もご活用いただきたい。
	⑭ 再整備後の小田南公園はランニング等で利用できるのか。	小田南公園再整備後の園路はもちろん、周辺の大物公園、大物川緑地も含めてランニング、散歩をしていただけるよう整備する。
	⑮ 市民球場のトイレは一般の公園利用者も使うことはできるのか。このほかにトイレはあるのか。	球場利用者だけでなく、一般の公園利用者もご利用いただける。また、別途、公園の北西入口の横にもある。
	⑯ 東部雨水ポンプ場に多目的運動広場を整備できるだけのスペースがあるのか。	現在のポンプ場の建替えで、施設が地下になることも想定されており、その上部利用を行うことで1ha程度の多目的運動広場を整備予定である。
防災機能に関する事	① 津波等一時避難場所の指定によって、地元の混乱を招かないようにしてほしい。	近隣地域住民の皆様で決めていただいた津波等一時避難場所の変更を促すものではない。ただ、公園利用者や逃げ遅れた方が避難できる場所の選択肢の一つとして指定する必要性があることをご理解いただきたい。
	② マンホールトイレや応急給水栓の検討はしないのか。	防災機能の向上に向けて、ご意見のような項目も検討を進めている。
	③ 津波等一時避難場所の指定に当たっては、職員等が常駐されるのか。	常時、人がいるわけではないが、いつでも避難が可能な設備や運用を検討している。
	④ 阪神大震災のときのように、応急仮設住宅建設予定地として利用できるのか。	(仮称)小田南公園野球場、(仮称)小田南公園広場の他にも、新たに大物公園の広場や東部雨水ポンプ場における多目的運動広場なども含めることで、現在と同規模を確保していく。
工事時期・工事期間中に関する事	① 小田南公園の整備時期を教えてください。	小田南公園の工事は、第1工区・第2工区ともに、令和4年12月から令和7年1月末までの予定である。
	② 大物公園の整備時期を教えてください。	大物公園は、まず、小田南公園の工事がスタートする、令和4年度12月までに広場機能を暫定的に整備し、小田南公園の再整備後の令和7年4月以降に遊具や芝生広場の整備を行う予定である。
	③ 大物川緑地の整備時期を教えてください。	大物川緑地は、阪神大物駅から小田南公園へのメイン動線部の整備を先行して、小田南公園の工事と同時期に実施し、残りの部分は令和8年度以降に整備予定である。
	④ 東部雨水ポンプ場での多目的運動広場の整備時期はいつ頃になるのか。	多目的運動広場は、東部雨水ポンプ場の建替えに合わせて整備するので、小田南公園の完成から少なくとも5年以上は遅れる見込みである。
	⑤ 小田南公園の工事期間中、ウォーキングができなくなる。工事が始まる前に大物公園の整備を完了できないか。	大物公園の本格的な整備を令和4年12月までに完了することはスケジュール的に難しい。
	⑥ 工事時間の予定はどうなっているか。	
	⑦ 工事車両等の交通量はどうなる見込みか。	詳細設計の後に施工業者を決定し、施工計画を作成するので、今後説明会等でご説明させていただく予定である。
	⑧ 工事日程の説明は、別途行われるのか。工程表はもらえるのか。	
	⑨ 小田南公園の工事中は市の職員が常駐するのか。また、工事の騒音に対する苦情はどこに言えばよいのか。	工事の際、市の職員が常駐することは考えていないが、工事の騒音に対する苦情は、市の公園部局にご連絡いただければよい。
	⑩ 朝6時半からラジオ体操で集まっている。工事中どこを使えばよいのか。トイレも必要であり、音が問題にならないか心配である。	令和4年12月の小田南公園着工までに、トイレが既にある大物公園に広場機能を整備予定なので、そちらをご利用いただきたい。音に対するご意見は様々考えられるものの、整備時の一時的なものとして、音量など、配慮いただきながらの利用にご協力いただきたい。

分類	ご質問・ご意見等	市の考え方
整備後の運営・維持管理に関すること	① 来場者の交通手段はどのように想定されているのか。	ほとんどの方が電車を利用されると想定している。
	② 阪神側道の車両通行量が増えるのが心配である。	(仮称)阪神タイガース野球場での興行時には小田南公園の駐車場を一部閉鎖するとともに、公共交通機関等の利用を周知徹底するなど、観客が車で来場しないようにすることで、車の量が増えないようにする。
	③ 小田南公園周辺は現在も交通量が多い。交通量がどの程度増えるのか。周辺の交通量増加への対策はどうするのか。	また、交通量については、甲子園でのファーム公式戦を基に分析を行っている。甲子園周辺には大規模な商業施設があり環境は異なるが、仮に同台数が増えた場合であっても周辺の交通環境に問題は発生しないという分析結果である。なお、公式戦開催に際しては甲子園球場での2軍戦と同様に、平日30名、休日40名程度の警備員や案内スタッフを配置予定である。
	④ 大物川緑地のメイン動線より南側の緑地、道路部分も人が増加すると考えられるが、現在もゴミが多い中で、不安に感じている。警備員の配置等の対策はどうなるのか。	小田南公園は指定管理業者が常駐していることで、他の公園と比較しても維持管理が行き届いているが、大物公園・大物川緑地も含め、市内の多くの公園は維持管理費の面で苦慮してきている。今回の事業によって大物公園・大物川緑地の整備費・維持管理の充実もできると考えており、ご指摘のような課題を解決したい。
	⑤ 阪神ファームの試合は休日、平日でそれぞれどの程度来場する見込みか。	観客席は3,600席程度で設計をしている。1試合当たりの観客数については、他の球場における2軍戦の実績等を参考にすることで、休日でも3,000人程度、平日はその半数程度と見込んでいる。
	⑥ 試合はナイターでも行われるのか。実施に必要な明るさに問題ないか。	公式戦(50試合)と練習試合(50試合)を合わせて年間100試合程度が行われ、そのうち、それぞれ半分程度がナイターの予定である。また、設計を進める際、シミュレーションを実施し、実施に必要な明るさを確保しつつ、周辺の環境基準を上回らないことを確認している。
	⑦ 市民球場の利用者が園路や広場でウォーミングアップやキャッチボールをすると、他の公園利用者に危険が及ぶ場合がある。そうしたことは指導してほしい。	再整備後の公園を管理運営する中で、公園利用者への必要なマナー啓発を実施する。
	⑧ 苦情対応等で想定外の支出を強いられるということはないのか。	現在、施設整備と周辺対策の運用について、併せて検討を進めている中で、そのようなことがないように検討を進める。
	⑨ これまでの説明会で大物公園の維持管理を充実させていくという説明もあったが、どうなったのか。	大物公園、大物川緑地については、これまで以上に行き届いた維持管理を行えるよう、検討している。
事業の枠組み及び事業収支に関すること	① 小田南公園にはほとんど毎日通っているが、利用者も多く良い公園である。今回の事業は市民にどのようなメリットがあるのか。	この事業においては、官民連携により、小田南公園の第1工区全てを阪神グループが整備した上で、市に寄附いただく仕組みである。さらに、第2工区は、現状、市は使用していない土地である中、この土地を貸し付け、選手寮等が建築されることで、市にとって新たに収入が生まれる形となる。
	② 事業全体の資金の流れをはっきりさせてほしい。“寄附”というイメージで得すると思っている市民は多いが、周辺整備には一定市民の税金も使われることとなるのではないのか。	これによって、将来の財政負担軽減を図った上で、小田南公園だけでなく、大物公園等の再整備と維持管理の充実にも、今、取り組むことができることが大きなメリットであると考えている。また、これは、施設を安全で快適に使用していただけるようになることで市民へも還元できると判断したものである。
	③ 公共の公園を民間企業に使わせることを決めた理由、公共性に関する説明をしてほしい。	そうした中、新たな収入も生じている中で、阪神側に対して、現状の支出(小田南公園の維持管理費)以上に支出することはない。なお、40年間における収入規模は、40億円強となる試算である。40年間の支出を行っても、数億円は残る見込みである。
	④ 整備費、維持管理費を含め、事業全体の収支を教えてください。	
	⑤ 尼崎市が第2工区の収入の中から、阪神グループへ補助金を支出することだが、この補助金とはどういったものか。	この補助金は、例えば、大物駅周辺の賑わいづくり、南部活性化、スポーツの振興、第1工区内の市民用球場の市民の利用のしやすさなども含めた運営等のための補助金・奨励金という位置づけである。
	⑥ (仮称)阪神タイガース野球場と(仮称)阪神タイガース練習場が阪神グループが専用使用する施設なら、土地の使用料を徴収すべきではないのか。	(仮称)阪神タイガース野球場と(仮称)阪神タイガース練習場は寄附していただき、市の公園施設になるため、土地の使用料を徴収しないものである。
その他	① 早く進めてほしい。施設名に“大物”を入れる等、大物の名を全国に広めてほしい。	地域にとって良い事業となるよう進めていきたい。
	② 大物公園西側の和楽園を稲川公園に移転し、社協会館跡地部分を公園にして、公園面積を広くすることはできないか。	本市のファシリティマネジメント計画で社協会館の移転が決まっているが、和楽園については存続予定である。社協会館跡地は今後、有効活用を図ることとしている。
	③ 小田南公園の環境面での取組や南海トラフ地震への備えなど、具体的な計画が何も示されていないのではないのか。CO2を何トン排出するのか等具体的なことを言えないのか。	現在、小田南公園等での二酸化炭素排出量をゼロにできるような計画の検討を進めている。